

踊る人形, The Animation of Dancing Menについて

このアニメーションのワークショップは、時間芸術の方法で人間性の発露、存在の有機的な表現を試みます。

「絵巻物マシーン」という自作の映像装置を用いて映像をつくり共に観ることに、自分と他者のつながりを想像します。

「踊る人形」は、英国の作家アーサー・コナン・ドイルの短編推理小説で、作中の「棒人間の暗号」の簡素な絵に様々な表情と豊かな意図を見出す象徴として引用しています。北海道の夕張や沖縄の若狭、海外ではメキシコやインドネシアで開催し、地域共同体の日常を生きている人々の記憶、子どものタマシイが続いている心模様を「時間の絵」として描きます。経験してきた時間＝変化の記しを各地で憶うアートプロジェクトです。